



新年のごあいさつ

明けましておめでとうございませ
す。

平成21年の輝かしい新春を迎え、
議会を代表して謹んで新年のごあ
いさつを申し上げます。

昨年を顧みますと、明るい話題
ではノーベル物理学賞、化学賞に
4人の方が受賞されました。この
すばらしい業績は、長年にわたる
努力の成果であると、深く敬意を
表しますとともに、益々のご活躍
を願うものであります。

一方、食の安全安心におきまし
ては、賞味・消費期限の改ざんや
産地偽装、また汚染米の不正転売
などと、日常生活を脅かす大きな
社会問題が次々に出てまいりまし
た。食品取り扱い業者のモラルは
言うまでもなく、皆様それぞれが
食に関して、さらなる厳しい目を
向ける必要があります。

さて、地方を取り巻く財政状況
は、国による「三位一体の改革」
に続き「歳入歳出一体改革」が実
施され、さらに地域間格差が生じ
ているのが実情であります。

平成19年度決算における、自治

体財政の健全度を測る代表的な指
標としての「経常収支比率」は、
本町は県下第1位に位置している
ものの、将来にわたり現状の財政
力を維持できる確証はなく、今後、
さらに行政と議会がより良い緊張
感を保ちながら、引き続き健全財
政を維持すべく、議会の責務を果
たしてまいりたいと考えておりま
す。

本町における産業経済は、東レ
株式会社生産ラインの増設や大型
商業施設エミフルM A S A K Iが
昨春に開店し、雇用の確保ととも
に順調に業績を伸ばしているもの
の、他の中小企業においては景気
の低迷により、さらに厳しい状況
であると聞き及んでおります。

今春には商工会が中心となり準
備を進めています。「株式会社まさ
き村」がエミフル内に開店予定で
あり、地場産業の育成と消費拡大
に大きな期待が寄せられていると
ころであります。

これからの町づくりは、行政改
革の基本方針に基づき、地方分権
の推進により増大する行政需要に

計画的に対応し、また重要な施策
には積極的に取り組んでまいりた
いと考えております。

昨年11月には、初の試みとして
子ども議会を開催いたしました。

子ども議員による一般質問や町づ
くりの提言など、我々議員には気
づかない子ども目線での意見が多
くあり、頼もしく感じたところで
あります。将来の松前町を担う子
どもたちには、さらに郷土への愛
情を持っていただき、町づくりに
関心を高めていただくよう期待す
るものです。

議会といたしまして、町の発
展と町民の幸せを念頭におき、ご
期待に添う活動をしてまいります。
なにとぞ、皆様におかれましては、
今後とも変わりのない御指導と御協
力を賜われますようお願い申し上
げます。

年頭にあたり、本年が皆様にと
りまして最良の年でありますよう
祈念いたしますと
新年のごあいさつと
いたします。



松前町議会議長

伊賀上 明治

松前町議会

副議長 岡井馨一郎
議員 城村トキ子

加藤 博徳

村井慶太郎

八束 正

寺下 武

藤岡 緑

松本一二美

早瀬 武臣

澤田登代一

三好 勝利

木下 淳

植田 喜晴